

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

【歴史と建学の精神】

本学は、1889（明治22）年に宣教師A・E・ランドルフによって始められた金城女学校を前身とする。キリスト教主義にもとづく女子教育と国際理解教育を建学の精神とし、豊かな教養と深い知性を備えた女性を育て、今日まで中部地区における女子高等教育機関として社会的に高い評価を得てきた。本学は、近年の女性の社会進出や高等教育志向の流れの中で、これまでの伝統を継承しつつ、豊かな人間性と高度な専門性を持つ職業人として学生を社会に送り出すことを使命とし、文学部・生活環境学部・国際情報学部・人間科学部・薬学部それぞれの専門性を活かして多様な人材を社会に輩出してきた。

【教員養成の理念】

本学の教員養成の理念は、このような本学の使命に基づくもので、豊かな人間性ととともに高度な専門性を持つ教員を養成し社会の要請に応えることにある。本学は、「強く、優しく。」を教育スローガンとしているが、自分に対しても他者に対しても強く優しく接することのできる教員、すなわち、しなやかで強靱な精神を持って教育の仕事に携わることのできる教員の養成をめざす。

【理念を実現する構想】

学生は、「金城アイデンティティ科目」「金城コア科目」などの共通教育において本学の建学の精神と幅広い教養を身に付け、専門教育においてそれぞれの学科の専門的力を身に付ける。学生のキャリア支援としては、「キャリア形成」の授業やキャリア支援センターで指導のほかアドバイザー制度を設け、一人ひとりの学生に目を向けた進路指導を行っている。

本学は、幼稚園教員養成課程・小学校教員養成課程（人間科学部現代子ども教育学科）、栄養教員養成課程（生活環境学部食環境栄養学科）、中学校教員養成課程・高等学校教員養成課程（各学科）を持つが、教員養成の全体を大学として統括するために、教職課程委員会を設置している。この組織は、教職に関する全学的な指導方針（カリキュラム・授業形態・履修指導等）を定めるとともに、学部や学科からの教職課程に関する提案の是非を検討するなど、本学教職課程が本学の教員養成の理念に基づき適正に運営されているか否かを検証している。

【養成する教員像】

建学の精神を根幹とする豊かな人間性ととともに教科に関する高度な専門性を身に付け、教育の果たす重要な役割を認識して教員としての責任を自覚し、園児、児童、生徒の心情に寄り添う「優しさ」とともに必要な指導を回避せぬ「強さ」を持ち、学ぶことの楽しさと学ぶことの意義を授業で園児、児童、生徒に伝えることのできる教員の養成をめざす。